

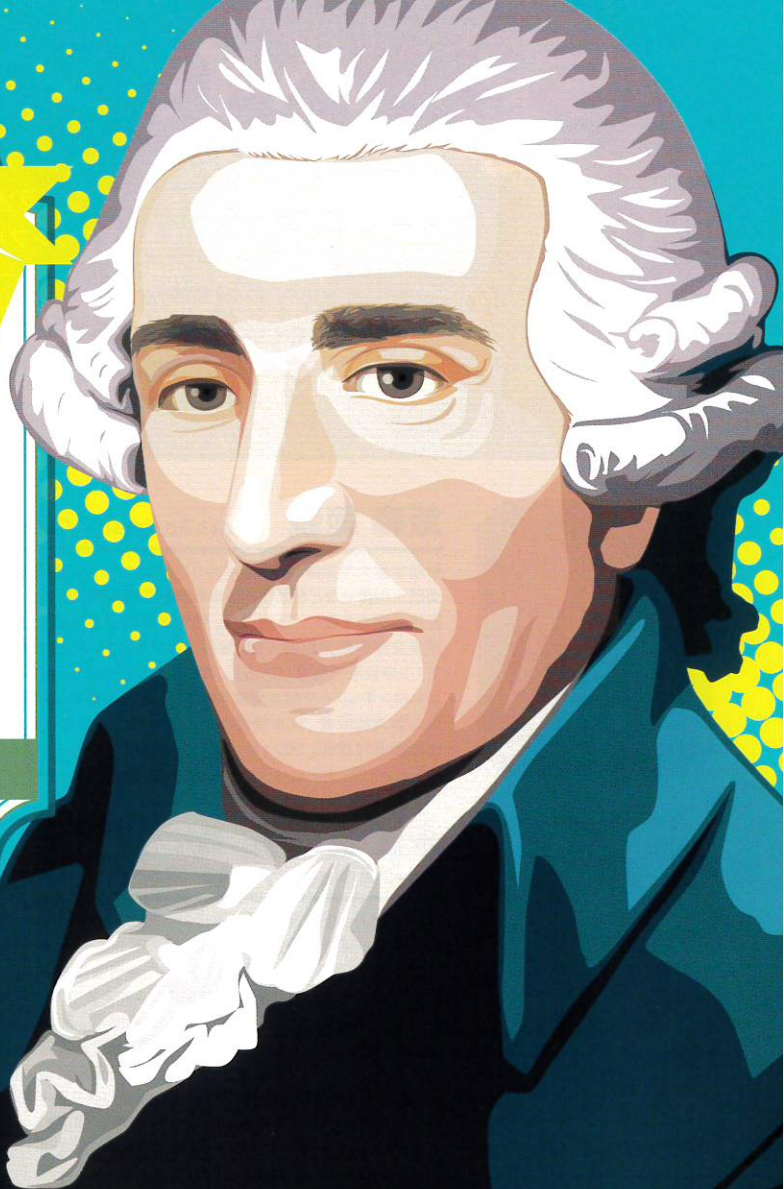
HAYDN<sup>HM.</sup>  
MARATHON 32

日本センチュリー交響楽団

# ハイドン マラソン

ハイドンの全交響曲を演奏・CD化するプロジェクト

ハイドンマラソン新シーズン2回目  
ゴールまであと2年!



©s.yamamoto

Norichika Iimori, conductor

指揮 飯森 範親



©Masaharu Ebuchi

Mayuko Nagae, Flute

フルート 永江 真由子

日本センチュリー交響楽団  
首席フルート奏者

©満田聡

Kazuko Shinozaki, Harp

ハープ 篠崎 和子

影響を与え合った二人の大作曲家  
時を経て巡り会う一夜

ハイドン

交響曲 第55番 変ホ長調 Hob.I:55 「校長先生」

J. Haydn: Symphony No.55 in E-flat major, Hob. I:55, "Der Schulmeister"

モーツァルト

フルートとハープのための協奏曲 ハ長調 K. 299

W. A. Mozart: Concerto for Flute and Harp in C major, K.299

ハイドン

交響曲 第29番 ホ長調 Hob.I:29

J. Haydn: Symphony No.29 in E major, Hob. I:29

2023. 8.4 金 19:00開演 (18:00開場) ザ・シンフォニーホール

A席 5,000円 / B席 4,000円

一般発売日 2023年4月3日(月)

ご予約・お問合せ

▶ センチュリー・チケットサービス ☎06-6848-3311 (平日10:00-18:00)

ご予約

▶ ザ・シンフォニーチケットセンター ☎06-6453-2333 (11:00-16:00 火曜休)

▶ e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

▶ センチュリー・ネットチケット(24時間) <https://www.century-orchestra.jp/ticket/>



※未就学児入場不可 ※やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

主催:公益財団法人日本センチュリー交響楽団 協力:ザ・シンフォニーホール 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会 大阪市助成

スペシャル  
スポンサー

地主株式会社  
JINUSHI Co., Ltd.

スペシャル  
スポンサー

旭酒造株式会社

フレンドシップ  
パートナー

GAMBA  
OSAKA

オフィシャルスポンサー

栄光ホールディングス株式会社 / MKS MKビル-7 / 株式会社エムズ住建設 / ONKYO

Kaneka / 共栄法律事務所 / KINCHO / TheSymphonyHall / 新コスモス電機株式会社

TCG 高松コンストラクショングループ / S Shadō / TAKUMA / TOYO TIRES

日本ペイントホールディングス / Hankyu / THE HILTON PLAZA / Phoxter

日本センチュリー

検索





# ハイドン マラソン



飯森範親マエストロと日本センチュリー交響楽団が挑む、ハイドン全104曲の交響曲を演奏、CD化する一大プロジェクト=ハイドンマラソン。ハイドンのシンプルながら奥深い楽曲を、これまで磨き上げてきたセンチュリーの珠玉のアンサンブルが美しく会場を満たします。

今回は、「校長先生」というユニークな愛称で親しまれている第55番と、ハイドンの交響曲の中でも珍しい「ホ長調」で書かれた第29番が登場です。そして一緒にお楽しみいただく一曲は、モーツァルトの「フルートとハーブのための協奏曲」。ソリストに当団首席フルート奏者・永江真由子と、国内外で活躍目覚ましいハーピスト・篠崎和子を迎えます。フルートとハーブの美しい掛け合いにもご注目ください。



## 飯森 範親 Norichika Iimori / Conductor (日本センチュリー交響楽団 首席指揮者)

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年の東京交響楽団ヨーロッパツアーでは「今後、イモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。その後、同楽団とは密接な関係が続け、正指揮者、特別客演指揮者を務めた。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビューを飾る。06年度芸術選奨文部科学大臣新人賞。海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、プラハ響などに客演を重ねる。01年よりドイツ・ヴェルテンベルク・フィルの音楽総監督(GMD)に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。日本ツアーも成功に導いた。現在、パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いづみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2023年4月より群馬交響楽団常任指揮者に就任。2024年には、新国立劇場のモーツァルト「コジ・ファン・トゥッテ」への出演が予定されている。オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>



## 永江 真由子 Mayuko Nagae / Flute (フルート)

愛知県出身。桜丘高等学校音楽科を経て、東京音楽大学卒業。同大学研究生修了後、同大学非常勤助手を務める。第51回日本学生音楽コンクール名古屋大会高校生の部第1位。第10回びわ湖国際フルートコンクール一般の部第1位、及びオーディエンス賞受賞。第76回日本音楽コンクールフルート部門入選。日演連推薦新人演奏会において名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。小澤征爾・故ロストロポヴィッチによるキャラバンコンサートツアー 2002・2005、小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトVII、スーパーワールドオーケストラ日本ツアー 2005、水戸室内管弦楽団に参加。コンチェルトのソリストとして日本センチュリー交響楽団と共演。NHK-FM「リサイタル・パッシオ」に出演。これまでにフルートを濱田千枝、大西宣人、寺本義明、中野真理、梅津正好、相澤政宏、植村泰一の各氏に師事。現在、日本センチュリー交響楽団首席フルート奏者、大阪音楽大学非常勤講師。



## 篠崎 和子 Kazuko Shinozaki / Harp (ハープ)

桐朋学園大学、およびニース音楽院を審査員満場一致の金メダルを得て卒業。第1回リリー・ラスキーン国際ハーブコンクール・ジュニア部門第2位、第6回USA国際ハーブコンクールでVanderbilt Music Company賞など、コンクール受賞歴多数。第36回エグソンモービル音楽賞洋楽部門奨励賞、第19回出光音楽賞を受賞。文化庁派遣芸術家在外研修員として2年間パリに留学。帰国して以来、国内主要オーケストラとの共演をはじめ、各地でのリサイタル、室内楽の演奏会に出演。また東京・春・音楽祭、セイジ・オザワ松本フェスティバル等にも参加している。2002年4月、ファーストアルバム「塔の中の王妃」でCDソロデビュー。これまでに、ヨセフ・モルナル、マリ＝クレール・ジャム、ミッシェル・ヴィオーム、イザベル・モレット、ジェルメンヌ・ロレンツィーニ各氏に師事。現在、いづみシンフォニエッタ大阪メンバー、桐朋学園大学音楽学部、洗足学園音楽大学非常勤講師。



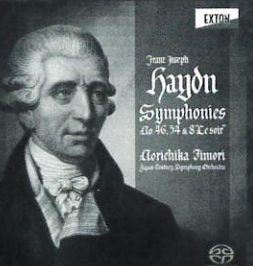
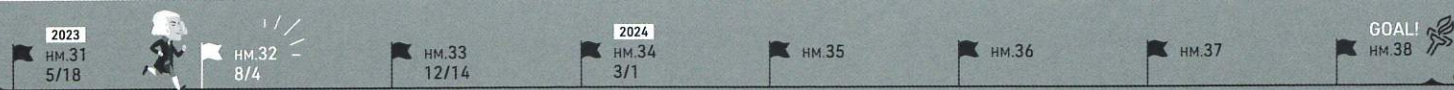
## 日本センチュリー交響楽団 Japan Century Symphony Orchestra 街に響く。心に届く。

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。2度にわたり大阪府文化祭奨励賞を受賞する(2015年度、2018年度)など、演奏活動は高い評価を得ている。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。「優れた演奏により地域の力を発信する」「オーケストラによる感動と癒しを提供する」「優れた才能を発掘し次世代の育成に寄与する」「国際相互理解や平和に積極的に貢献する」の4つの理念のもと、演奏を通して多くの人々の心に明るい夢が広がることを願い、新しい時代のオーケストラとしての発展を目指し活動している。オフィシャル・ホームページ <https://www.century-orchestra.jp/>



## モーツァルト フルートとハーブのための協奏曲

モーツァルトはフランスの貴族で外交官だったギーヌ公の娘の作曲などの家庭教師をしていました。娘はハーブ、父親はフルートの愛好家で、娘の結婚式に演奏するという要望から作曲を依頼された作品といわれています。(実際に結婚式で演奏されたかは不明) フランス風サロン音楽的な美しく躍動感に溢れた作品、お楽しみください。



**ハイドン交響曲集CD 好評発売中!**  
飯森範親と日本センチュリー交響楽団「ハイドンマラソン」のライブ収録盤 Vol.1~Vol.19  
レコード芸術特選盤に複数選ばれるなど高い評価を受けています。精緻で透明感溢れるセンチュリーの極上のサウンドをご自宅でも是非お楽しみください。センチュリー主催公演会場ほかインターネットでお買い求めいただけます。



**ハイドンマラソン関連企画**  
公演に先がけ専門家や演奏家が講師となり、各々のユニークな切り口でハイドンの交響曲や作曲家自身について理解を深めてもらうレクチャーです。  
※講座情報は決まり次第、ホームページ等でご案内いたします。